ブラジルワールドカップ

観戦—レベル1、一般的な注意事項を守る

公表日：2014年3月11日

特に記載がない限り、本ページに記載されているURLは英語でのみご利用いただけます。

国際サッカー連盟（FIFA）が主催するワールドカップは、世界各国からのチームが競い合う、4年に1度開かれるサッカートーナメントです。2014年ワールドカップは2014年6月12日～7月13日に開催予定で、ブラジルの12都市で繰り広げられます。

2014年FIFAワールドカップ観戦でブラジルへ渡航予定の方は、自らの安全と健康を守るために、以下の勧告に従ってください。

旅行者が自分自身を守るためにできることは何でしょうか？

旅行前：

- CDCの「Health Information for Travelers to Brazil（ブラジルへの旅行者向けの健康情報）」をご覧ください（wwwnc.cdc.gov/travel/destinations/traveler/none/brazil）。
- 遅くとも旅行出発の4～6週間前までに健康診断を受けてください。ブラジルへの旅行に推奨される予防接種や薬については、医師または看護師に相談してください。

o CDCでは、どの旅行者も必ず定期的に予防接種（MMR［はしか、おたふく風邪、風疹混合］ワクチン、ジフテリア・破傷風・百日咳混合ワクチン、水痘［水疱瘡］ワクチン、ポリオワクチン、インフルエンザワクチンなど）を受けるように推奨しています。

o その他にも、A型肝炎ワクチン、腸チフスワクチン、B型肝炎ワクチン、黄熱ワクチン、そして狂犬病ワクチンの接種が推奨されます。

o マラリアや旅行者下痢症のための薬を携帯することも推奨されます。

o 最寄りの渡航医学クリニックを探すには、「Find a Clinic（クリニック検索）」ページ（wwwnc.cdc.gov/travel/page/find-clinic）をご覧ください。また、国際渡航医学会（ISTM）では「Global Travel Clinic Directory（世界各国のトラベルクリニックディレクトリ）」（www.istm.org/WebForms/SearchClinics/Default.aspx?SearchType=Advanced）を設けています。

• 海外旅行保険と医療救助保険に加入されることを検討してください。

• 旅行カバンには旅行用のヘルスキット（wwwnc.cdc.gov/travel/page/pack-smart）を入れておきます。

• 米国国務省（http://travel.state.gov/content/passports/english/alertswarnings.html）による旅行警告・注意事項を確認し、また旅行のアドバイスをしっかり読んでください。

• Smart Traveler Enrollment Program（http://travel.state.gov/content/passports/english/go/step.html）に登録してください（米国民向け）。

• 旅行の日程表、連絡先情報、クレジットカード、パスポートのコピーをご家族などに渡しておいてください。

旅行中：

• **セキュリティ・安全ガイドラインに従ってください。**米国人旅行者は大規模なスポーツイベントにおいて犯罪者の標的とされる可能性があります。

o なるべく、夜間の外出や、不審な場所への立ち入りを避け、友人やグループと一緒に行動するようにしてください。

o お酒を飲む場合には、適度な飲酒を心がけてください。お酒に酔った人は、自分自身や他の人を傷つけたり、危険な性行為におよんだり、逮捕されたりする可能性がより高くなる傾向にあります。

o パスポートのコピー（顔写真のページと、入国スタンプのあるページ）を携帯し、パスポートの実物はホテルの安全な場所に保管してください。

o 最寄りの在ブラジル米国大使館または領事館の連絡先（http://travel.state.gov/content/passports/english/country/brazil.html#more_embassies）、そして現地の救急サービス（190［警察］、192［救急車］、193［消防署］）の電話番号を携帯してください。これらの現地の緊急連絡先の電話番号は、ポルトガル語でのみ通話が可能な点にご注意ください。

o 現地のすべての法律と社会的慣習に従ってください。

o 高価な服や宝石は身に着けないでください。

o 常にホテルの客室のドアには鍵をかけて、貴重品は安全な場所に保管してください。

o なるべく、ホテルの客室は2～6階を選ぶようにしてください。ホテルの1階にある客室は犯罪者によって狙われやすくなっています。7階以上の客室は、万が一火災が発生した際に、避難するのが困難である可能性があります。

・**食品と水に関する安全ガイドラインに従ってください**：汚染した食品、水または飲料の摂取は、A型肝炎、腸チフス、旅行者下痢症などの病気を引き起こす可能性があります。

o 肉、魚、卵、野菜は、十分に加熱調理されたものを、温かいうちに食べるようにしてください。

o フルーツは、きれいな水で洗ってあるもの、または自分で皮をむいたものだけを食べるようにしてください。

o 低温殺菌されていない牛乳および乳製品の摂取は避けてください。

o 加熱調理されていない野菜（サラダやサルサなど）は食べないでください。

o 道端で販売している食べ物は食べないでください。

o ボトルに充填して密閉された飲み物（水、炭酸飲料、スポーツドリンク）、または煮沸させた飲み物（ホットコーヒーやホットティー）をお召し上がりください。

o ソーダ・ファウンテンの清涼飲料水や飲み物の中の氷はお召し上がりにならないでください。

・**蚊に刺されないように虫よけを使用してください**：マラリア、デング熱、黄熱などの蚊が媒介する感染症はブラジル全域で高率に発生しています。

o 長袖のシャツ、長ズボン、帽子を着用して肌を覆ってください。

o 皮膚の露出部には虫よけを使用してください。

- ペルメトリン処理を施した服やギア（ブーツ、パンツ、靴下、テント）の使用を検討してください。あらかじめペルメトリン処理された服やギアを購入することも、自分でペルメトリン処理することもできます。

    - 網戸付きまたはエアコン完備の部屋に滞在し就寝してください。屋外で就寝される場合には、蚊帳を使用してください。

    - マラリア予防薬または黄熱ワクチンの使用が必要となる場合もあります。ご自分に合った予防法については、医師または看護師に相談してください。（以下のボックスを参照してください。）

ブラジルにおける黄熱とマラリアに関する情報

黄熱ワクチン

要件:なし

接種が推奨される滞在地域:

• アクレ、アマパー、アマゾネス、ブラジリア連邦直轄区（首都ブラジリアを含む）、ゴイアス、マラニョン、マットグロッソ、マットグロッソ・ド・スル、ミナスジェライス、パラー、ロンドニア、ロライマ、トカンティンス州の全域、そしてバイーア、パラナ、ピアウイ、リオグランデ・ド・スル、サンタカタリーナ、およびサンパウロ（州）の指定地域を旅行する生後9か月以上の全旅行者に推奨されます。またイグアスの滝を訪れる旅行者にもワクチンの接種が推奨されます。2011年に、ブラジル保健省は、黄熱ワクチンの接種が推奨されるブラジル南東部の4つの州、サンパウロ、パラナ、サンタカタリーナ、そしてリオグランデ・ド・スルの自治体のリストを拡大しました。

• 上記の地域以外（フォルタレザ、レシフェ、リオデジャネイロ、サルバドル、そしてサンパウロ市など）のみを訪れる予定の旅行者には推奨されません。
• 地図3-17（wwwnc.cdc.gov/travel/yellowbook/2014/chapter-3-infectious-diseases-related-to-travel/yellow-fever#4274）をご覧ください。

• 詳細については、ブラジル保健省による自治体および州別のワクチン接種に関する勧告（wwwnc.cdc.gov/travel/pdf/yellow-fever-vaccine-recs-brazil-2014.pdf）をご覧ください。

マラリア

マラリア流行地域:アクレ、アマパー、アマゾネス、マットグロッソ、マラニョン、パラー、ロンドニア、ロライマ、トカンティンス州。ベレン、ボア・ヴィスタ、マカパ、マナウス、マラバ、ポルト・ヴェーリョ、サンタレンなどの都市部でも発生しています。イグアスの滝では発生していません。

米国人旅行者のマラリアの推定相対リスク:低。

薬物耐性:クロロキン（*熱帯熱マラリア原虫*によるマラリアを参照してください）。

マラリア種:*三日熱マラリア原虫* 85%、*熱帯熱マラリア原虫* 15%。

推奨される化学的予防法:アトバコン・プログアニル、ドキシサイクリン、またはメフロキン。

- **高温気候用のガイドラインに従ってください**：脱水症と熱中症はスポーツイベント時によく見られる症状です。

o（ボトル入りの）水をたくさん飲みましょう。

o ゆったりとした、軽量で薄い色の服を着ることで涼しく過ごし、またなるべく日陰にいるようにしてください。

o 帽子、サングラス、日焼け止め（15 SPF以上でUVA／UVB遮断効果のあるもの）を使用してください。

- **湖や川などの淡水では泳がないようにしてください**。住血吸虫症は淡水で感染し、深刻な健康上の問題をもたらす可能性のある寄生虫感染です。

- **性行為感染症（STD）のリスクを避けるようにしてください**：自国チームの勝利を祝う場などで、特にアルコールやドラッグを使用して、旅行者に危険な性行為を勧めてくる人がいるかもしれません。性行為を行う場合には必ずコンドームを使用してください。信頼できる販売元から購入したコンドームを携帯してください。

- **安全な交通手段を選択してください**：***外国における健康な米国民の死因の第1位は自動車事故です。***自動車事故で負傷するリスクを減らすために、以下のステップに従ってください：

    o 常にシートベルトを着用し、お子様をチャイルドシートに座らせてください。

    o なるべく、夜間には車を使用しないようにしてください。

    o オートバイには乗らないでください。オートバイに乗る必要がある場合には、ヘルメットを着用してください。

    o ハンドルを握る前に現地の交通ルールを熟知してください。

    o 飲酒運転は行わないでください。

    o タクシーのマークが付いた、シートベルト付きのタクシーだけを使用してください。

    o 定員および重量オーバーの不安定なバスやバンは使用しないでください。

    o 道路を横切る際には十分注意してください。

- **細菌への曝露を減らすようにしてください**：頻繁に手を洗い、風邪を引いた人には接触しないようにしてください。旅行中に風邪を引いたり、他の人に病気をうつしたりしないように、以下のアドバイスに従ってください：

    o 頻繁に手を洗ってください（特に食事前）。

    o 石鹸や水がない場合には、手の除菌用ローション（アルコール含有率60%以上）で手を清潔にしてください。

- 目、鼻、口を触らないようにしてください。顔に触れる必要がある場合には、その前に必ず手を清潔にしてください。

- 咳やくしゃみをする際には、口と鼻をティッシュまたは袖で覆ってください（手では覆わないこと）。

- 病気にかかっている人には接触しないようにしてください。

- 具合が悪い場合には、医師の診療を受ける必要がある場合を除き、外出を控え、ホテルの客室にとどまるようにしてください。

・旅行中に具合が悪くなったら—

- 具合がとても悪い場合（特に発熱がある場合）は、医師または看護師に相談してください。

- 具合が悪い時には、他の人と接触しないようにしてください。

- 以下のリソースには、旅行者が受診することのできる医師やクリニックのリストが提供されています：

  - Joint Commission International（www.jointcommissioninternational.org）。本ウェブサイトは複数の言語でご利用いただけます。ページの左上でご希望の言語を選択してください。

  - 国際渡航医学会（ISTM）では「Global Travel Clinic Directory（世界各国のトラベルクリニックディレクトリ）」（www.istm.org/WebForms/SearchClinics/Default.aspx?SearchType=Advanced）を設けています。

  - International Association for Medical Assistance to Travelers（www.iamat.org）。会員登録（無料）が必要です。

帰国後：

- 帰国後に具合が良くない場合には、医師の診察を受ける必要があるかもしれません。医師には旅行中にどこに行ったか、また何をしたかを含め、旅行の状況について必ず説明してください。また、旅行中に動物にかまれたり、ひっかかれたりしなかったかも伝えてください。

- 渡航医学の専門家を探すには、「Find a Clinic（クリニック検索）」ページ（wwwnc.cdc.gov/travel/page/find-clinic）をご覧ください。また、国際渡航医学会（ISTM）では「Global Travel Clinic Directory（世界各国のトラベルクリニックディレクトリ）」（www.istm.org/WebForms/SearchClinics/Default.aspx?SearchType=Advanced）を設けています。

- 旅行の際に医師からマラリア予防薬を処方された場合には、帰国後も残っている分を服用し続けてください。服用を中止する時期が早すぎると、病気にかかる可能性があります。

- **マラリアは死に至る可能性のある重篤な疾患です。**マラリア感染リスクがある地域への旅行中または帰国後（帰国後1年目まで）に発熱した場合には、**直ちに**医師の診察を受け、旅行歴を医師に説明してください。